

令和3年度第2回小金井市青少年問題協議会専門委員会

<次 第>

日 時 令和3年12月23日(木) 午前10時
会 場 桜並集会所 集会室A

1 開 会

2 議 題

(1) 専門委員会による調査、協議のテーマについて

3 閉 会

配布資料

資料3 研究・調査の方向性

参考資料

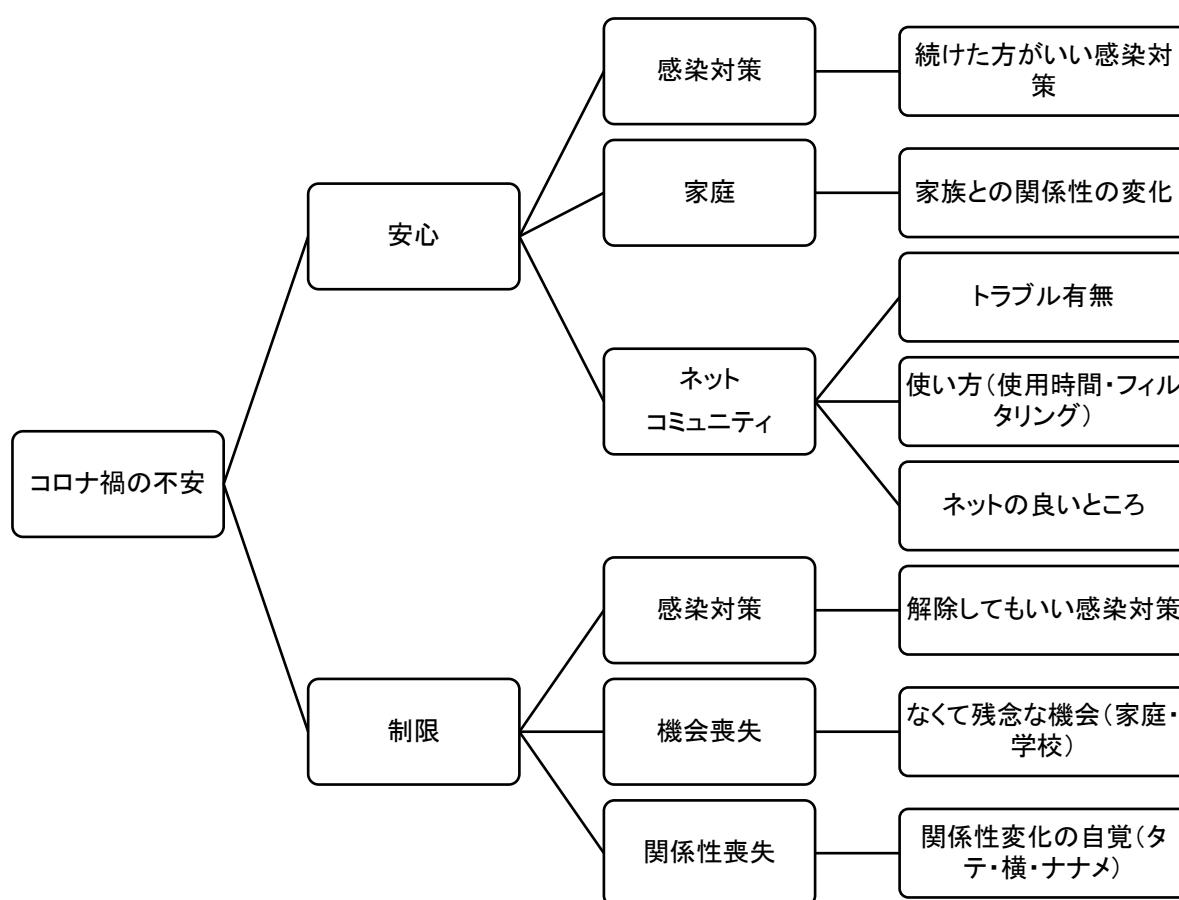
・青少年問題協議会における過去の調査項目(平成22年度～令和元年度)

研究・調査の方向性

調査方法：子どものみ（学年による差異）、保護者と子どもの比較、過去調査との比較
 調査票：最大25問程度（1問4択程度。令和元年度調査票参照）

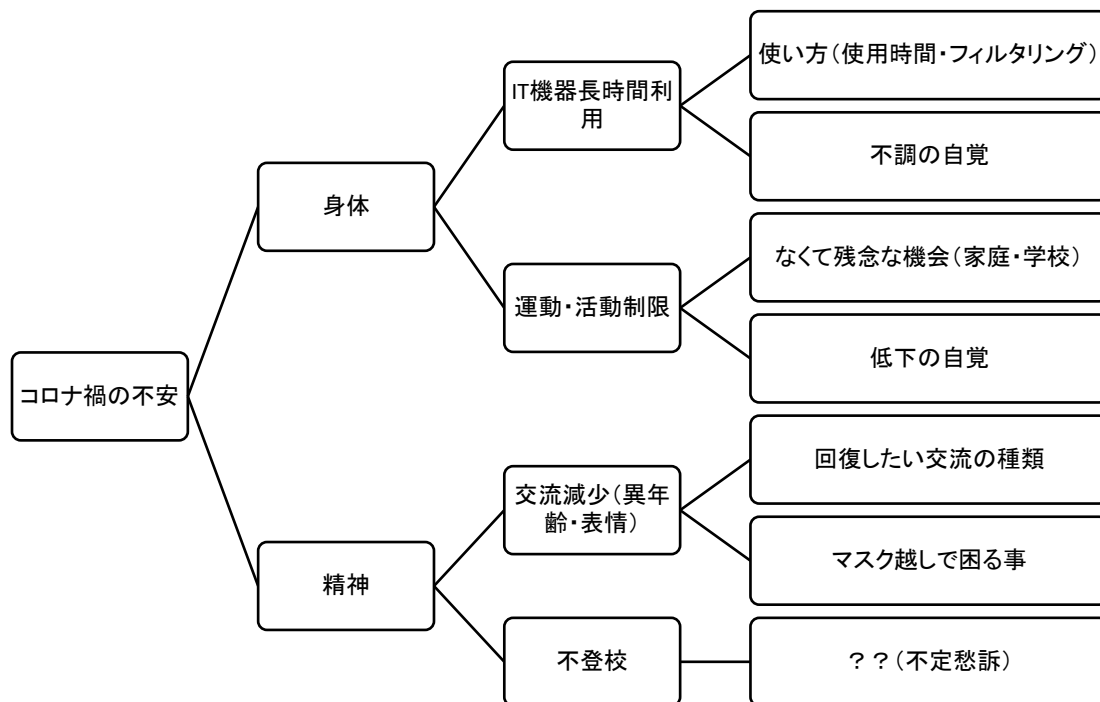
イメージ1「コロナ禍の実態 と ネットリテラシー」

- ・ 保護者と子どもにそれぞれの項目をアンケートし、大人から見た子どもの変化と、子どもの実感の比較から見えたことについて提唱する。
- ・ 構成としては、「コロナ禍で思ったこと」、「対人関係の変化」、「ネットとの付き合い方の変化」を各5～7問で確認する。



イメージ2「コロナ禍の不安」

- ・ 保護者と子どもにそれぞれの項目をアンケートし、大人が感じている不安と、子どもの実感の比較から見えたことについて提唱する。
- ・ 構成としては、「コロナ禍の不安」をメインに「生活状況の変化」、「心の状態（自己肯定や家族安心感）の変化」を各5～7問で確認する。



イメージ3 「IT環境の変化」

- ・ 保護者と子どもにそれぞれの項目をアンケートし、大人が把握していることと、子どもの実感の比較から見たことについて提唱する。
- ・ 構成としては、「IT充実による受け止め方」を確認するとともに、ネットリテラシーが備わっているのか確認する。

